

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第2回 理事会議事録

日 時：2014年 2月 24日 (火) 19:00～22:00

場 所：コンセーレ

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 須山 (敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 澤畑、福田(之)、廣田、太城、中島  
( 専 務 理 事 ) : 金  
( 監 事 ) : 安野 篠崎(達)  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 羽石、飯野、鈴木  
( 日 本 J C 委 員 会 特 別 委 員 長 ) :  
( 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ) : 小瀧  
( 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ) : 豊崎  
( 事 務 局 局 長 ) : 飯沼  
( 委 員 長 ) : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田(弘)、山田、  
木村、飯塚  
( 局 次 長、副 委 員 長 ) : 間島、金田、柿沼、相田、菊地、中嶋、板林、南木、  
佐藤、林  
( 準 理 事 会 構 成 員 ) : 赤井、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金>(役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <飯塚>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <山田>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <増淵>
5. 関東地区宣言唱和 <渋谷>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名  
議事録 <総務委員会>  
議事録署名人  
須山 裕史  
篠崎 達彦  
安野 嘉政

8. 前回議事録の確認

<金>

9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

10. 2015年度理事長挨拶

<須山>

公開理事会に多数の皆様にお集まりいただきまして、感謝申し上げます。まず、公開理事会っていつも公開してないのって思われていますが、公開しています。なかなか、理事会って来る機会がないと思われていますが、たとえば、委員長とか副委員長とかに無理やりさせられた人もいるとは思いますが、私が理事になったのは入会して4年目ですが、理事になる前は理事会って遠くて、何をやっているのだろうとも思っていました。ただ、理事になった時に、いろいろ感じました。また、ここで宇都宮JCの例会や事業が決まっていくわけで、そういった部分を是非体験していただこうと思ひ、皆様お忙しい所だとは思いますが、お集まりいただきました。まず、報告事項からいきますと、月曜日に全国大会の主管立候補の仮立候補をするために、JC会館に金専務と行ってまいりました。無事に関東地区の佐藤会長と私共宇都宮JCで仮立候補ですので、正式な立候補ではないのですが、全国大会に対して立候補する意思はありますよということで、書類の方の提出をしたことをご報告申し上げます。他には富山JCさんと宮崎JCさんが来ておりました。何処が立候補するとかではなく、私たちがおこなう宇都宮JCの全国大会を粛々と準備して発信していくだけですので、これからも引き続きしっかりと準備していけたらと思います。また、今日は山本先輩に来ていただいております。なぜ卒業されている山本先輩が来たのかと疑問に思っているかたもいるかも知れません。私が理事長として、こうしてできるのも、山本先輩にいろいろ伝えられてアドバイスいただきながら、宇都宮JCを11年やってくることができました。いろいろな紆余曲折ありましたが、叱咤激励いただきながらきました。山本先輩は最後の三年、理事長やられてから、ブロック会長、地区会長ということで、なかなかLOMにいる機会もなく、入会が浅い方に関しては、接したことも、話したこともない、話を聞いたこともないという方が多いのではないかなということで、せっかく公開理事会でこうして多くの方にお集まりいただきましたので、JC生活の一部をご披露いただきまして、皆様のこれからの人生の糧となるような話をしていただきたいということで、お願いをし、来ていただいた次第でございます。その中でいろいろなお話をさせていただくと思いますが、絶対に皆さんのためになる話がありますので、是非お持ち帰りください。もう一点、拡大についてということで、話をさせていただきます。現在の入会の状況は1月の理事会で4名、先ほど面談を済ませてきた新井君の協議、審議が進んでいけば1名という状況でございます。30名の拡大を目標として進めている状況ですが、ここで1名とスピードが落ちてしまっているので、これからどう進めていけばよいかというところが難しいところですし考えなおさなければいけないと思います。ここでちょっと聞いてみたいと思いますが、小瀧特別委員長、現在の拡大の取り組みは、どんな感じで進められているか教えてください。

<小瀧>

はい、現在の拡大の取り組みとしまして、今度の市長例会にビジターさんが21名参加の予定になっております。ただ、来月すぐに、この21名が入会になることはないと思いますが、入会を勧めていく拡大をしていくということと、我々も他のメンバーに頼む以上は、我々も一名ずつでも各例会に連れて来るように動いて行きたいと考えております。

<須山>

拡大の実際の動きでは、どんなことをしているかを教えてください。

<小瀧>

実際に委員会にお声掛けをしています。また、人脈を漁っています。ここにいるいろいろな方にしつこいくらいお声がけしていますが、これからも、ご協力お願い致します。

<須山>

はい。ありがとうございます。拡大は拡大特別委員会だけでやるのではなくて、各委員会でも委員会を行った際に情報の精査などをしていただきたいなと思っております。4名、1名と来たわけですけども、1名になってしまったということは道中が悪いわけですね。結果的に1名入りましたけれども、その前段、1月の段階、12月の段階でのフォローアップができきれなかったというところが1名になってしまったということです。このまま、拡大委員会だけのせいにするわけではなく、皆でフォローアップができなかったというところが、一番まずかったのかなという考えです。また、明日の市長例会では21名の参加があるということでしたけれども、やはり、みなさんで入会させるような雰囲気、宇都宮JCの匂いというか、中身というものを皆で伝えていかなければいけないと思いますし、ここで、21名きたから3月は5名になる。とかそういうことではなくて、もっともっと力落とさず、積極的な声掛けをしていかなければ、30名っていうのは、なかなか届かなくなってしまうのではないかなと想っております。また、拡大委員会からの電話って出なくなるのが例年ですが、まだ、皆さん出ただけの状態だと思いますので、積極的に拡大特別委員会の皆さんも交流を図っていただけたらなというふうに思います。結果だけみていくと少ないのですが、やっぱり行動管理だと思います。どれだけ動いたかという部分で、活動量に比例してきます。ちょっと涉外と通ずるところもありますが、やはり動かないと頭で考えるだけでは、結果は出ないと思います。如何に足を運んだかとか、声を掛けたかって部分で結果は比例してくるものです。ですから、委員長、副委員長、理事の皆さん来ていますし、今日は公開理事会ですので、メンバーの皆さんも来ていただいておりますが、やはり、積極的な声掛けでメンバーを一人でも多く増やしていただいて、この街を元気に、明るい豊かな社会に導けるように全員で力を合わせていけたらと思っております。今日は公開理事会ということで、実りある会となりますよう、そして、是非ともオブザーブいただいた皆さんも、どういう形で理事会というものが、宇都宮JC事業例会というものが成り立っていくのか、決めごとがどういうふうに進んでいくか、しっかりみていただいて、できれば懇親会まで参加していただきたいです。どうぞ、よろしくお願い致します。

#### 11. 2014年度理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

#### 12. 第46代理事長 山本和紀先輩 講和

私は第46代理事長を務めさせていただきました。2012年でございます。そのあと、2013年には栃木ブロックの会長を務めさせていただいて、翌年、去年関東地区協議会の会長を務めさせていただきました。今日は理事の皆さんに対して話をさせていただきたいと思っておりますけど、理事じゃない方もいらっしゃいますので、JCってどういうものか、どうやったら楽しくなるのか、どうやって、やっていくのかも含めてお話できたらと思っております。私は2002年に入会しています。2004年の時が初理事でございます。

す。初理事のときは宮まつり委員会の副委員長理事でした。指名理事でした、当選理事じゃなかったです。ちょうど木村委員長の席です。あそこに座っていました。それから、ずっと理事をやらせていただいております。最後卒業するまで理事会構成メンバーでいさせていただきました。その中で理事会を構成することにあたって、また理事をやらせていただくにあたって、理事と委員長は違う、委員長は同じ理事ですが、役目が違います。どういうふうを考えやっていたか、老婆心ながら、皆さんより先に経験させていただいたことを、プライドをもってお話したいと思います。理事じゃない方もいらっしゃると思いますが、理事って、そうなのだと思います。委員長ってそんな苦労があったのと思っていただけたらなと思います。5年やろうが、10年やろうが理事のプロなんていないわけですから、須山理事長だって代表理事ですが、プロではありませんので、どんな想いで理事をやっているかを少しだけお話させていただきます。まず、理事の中で大事だと思うのは2つ、1つは委員会を運営すること、もう1つは理事としての見識、知識ということ、この2つをプライドとして持っていること、まず、委員会を運営するということは、委員長という立ち位置、軸足です。10人ぐらいの組織を運営するってことは、簡単そうにみえて、すごく大変なことです。その中で委員長というのは、それをやっています。今、ここにいる方はそういう委員長をみてきているわけです。委員会は大体2時間です。委員長は委員会のために2時間以上かけて、考え準備をしているわけです。委員会を考え準備し運営をしていく、J Cの中で最大公約です。何処に出向しようが、持っていなければいけないものです。組織を運営する。委員会を運営する、ここは是非注力していただきたいと思いますし、委員会を運営するってことは、すべてをかけてもおかしくないと思います。委員長はそういうものを背負っているのです。副委員長の皆さんには委員長を助けていただきたいと思います。常任、副理事の皆さんにはきちんと導いて欲しい。きちんと舵を取ってあげて欲しいと思います。委員長はそれを準備して欲しいと思います。そして、もう1つ、理事としての知識、見識を高めるというところです。たとえば、委員会メンバーが京都会議ってなんでやっているのですかと質問されたとき、答えられる人いますか。次行きますけど、京都会議っていうけど、会議はどこでやっているのと聞かれたとき、答えられる人いますか。サマコン、何の略か答えられる人いますか、横浜でやっていますよね、こんなものですよね。きっと、理事会を構成している皆じゃなくても、委員会構成メンバーが純粋に思ったときに、誰が答えますか、是非とも答えて欲しいです。その程度でもいいので、知識、見識を深めて欲しい。持っていたきたい。なぜ、委員会運営に全力で注力して欲しいというのか、なぜ、知識、見識を深めて欲しいというのか、なぜかといえば、委員会メンバーよりも1歩先を歩いていて欲しいからです。理事として、1番持っていて欲しいことかなと思います。なぜ1歩先を歩いていて欲しい。私の持論ですが、常に話題の中心にいられます。宇都宮J C全部で140人、150人近くいる中でも、やっぱり中心にいないともったいないです。層々たるメンバーがいます。その中でもさらに中心にいてほしいです。その極論どうしたらいいかというところ、全部出ることです。何にでも顔を出すことです。期待することです。やった方がいいよというところです。機会は皆さんにあります。そして、もう一つ話をします。時間の使い方です。1日は24時間しかありません、その中で理事の皆さんには、時間の使い方を考え尽くし、考え抜いていただきたいと思います。24時間J Cをしようなんて、毛頭いうつもりはありません。私も24時間J Cをやったのは何日しかありません、そこまでやる必要はないです。やれる時間2時間で何をやるのか、最高のパフォーマンスは何かを考えるのが経営者だと思われ、委員長だと思われ理事だと思われ。そのためにはどうしたらいいか。暇でJ Cをやっている人なんか、みるかぎり何人しかいないです、それは冗談です。たぶんいないと思います。私もつらかった時があります。大体大丈夫でしたけど。最大限のパフォーマンスをす

るためには、やはり何にでも顔を出しているのが、実は効いてきます。J Cの範疇の中での話を聞くということは、結論を導き出す、結論を決断することにすごく有意義です。他のブロックのLOMの周年の式典に出る。皆さん想像してみてください。その中で、新年の挨拶を理事長がして、御来賓のあいさつで、市長がして、商工会議所の会頭がしている中に間違いなく必ずヒントがあります。皆さんにも機会はあります。どうあるか。理事長と行けばいいだけです。そこに必ず町作りのヒント、議案のヒントが必ず落ちています。もちろん、軸足は何かヒントはないかな。町作りの是正案はないかな。と貪欲に持っていないとダメです。それが前提です。時間を有意義に使うためには時間を捨てることです。捨てるって行ったのは、たぶん無駄な時間だよな。と思う人が大半だと思うからです。皆さんだけで判断すると無意味な時間と取りがちです。ただ、一歩下がってシニアになった時に、その時間は無駄じゃない。とわかったりします。最短のベストな決断を下すために、無駄だと思う時間はJ Cの範疇の中であれば無駄ではありません。いい方としては騙されたと思ってというのが一番正しいのでしょうか。それを信じてください。最後に、今、全国的にリーダーを育成することを非常に躊躇しています。少し前から学級委員長を作らないシステムになりました。県として絶対置いてはいけない県もあります。教育現場でそうなるということは、どうかな。と思います。私たちJ Cはリーダーをそもそも育成する組織ですね。リーダーや指導者とは学ぶもの、勝ち取るもの、自分で学びたいと思い、そうならないかなければいけないもの。J Cの本質はそういうところにあります。理事になられた皆さんは、最短の切符を持っています。なぜなら、間違いなく成長が約束されているからです。じっとしていても成長が約束されている。だからこそ、自分だけ成長すればいいのではなく、委員会メンバーや会員の皆さんにそういう姿をみせてください。当選理事の皆さんは会員さんの約20票を持っています。そのうしろにいる人たちをあわせれば、100人くらいの票をもっています。推薦理事の皆さんはあなたを信じてなってほしいと思われております。1年や2年ではなれません。いろいろなつらいことや大変なことを全部飲み込んで、クリアしてこの席に座っているわけです。そういった皆様で構成されているのが、この理事会です。自分だけの成長に留まらず、必ず役にたつ人間にならなければいけません。理事は1年に一人しか生まれません。宮まつり委員長も研修委員長も1年に一人しか生まれません。そこのライン、そこの役職で学ぶことは唯一1つだけです。宮まつり委員長にしか学べないことがあるように、その1年の唯一のチャンスを皆さんはいただいているわけです。このチャンスは是非、かたちにしてください。今のメンバーが1分1秒無駄にすることなく、無駄なことが大切といいましたけど、その大切なことをみつけるために議論をしていただきたいと思います。議論は絶対皆さんのことを裏切りません。この理事会を構成する35~40人くらいで話し合って出した結論というのは、宇都宮J Cの英知なわけです。1日2日でできるものではありません。それを構成している一人だと自覚を持っていただいて、そして、責任を果たしていただきたいです。頑張ってください。

### 1 3. 役員報告

<金>報告事項のある方、挙手にて報告をお願いします。

### 1 4・審議事項

審-01 3月 研修例会 開催計画並びに予算(案)承認の件

<須山> 3月研修例会 開催計画並びに予算(案)承認の件、増淵委員長お願いします

す。

<増淵> 3月研修例会 開催計画並びに予算(案)承認の件について上程させていただきます。まず、事業名は、かみかぜジャンパーの挑戦、熱きレジェンドです。事業要綱につきましては、ご一読お願いします。事業概要は葛西紀明氏をお招きして、後援会を実施します。日時は3月30日(月)となっております。後援会は19時から開会となります。実施場所は宇都宮市文化会館です。動員に関しては、1300人を目標としております。事業予算などはご一読よろしくお願ひ致します。講演内容といたしましては、葛西紀明氏に諦めない心や不屈の精神、感謝の心などを、より多くの市民の方に伝えていただき、感動を与え、心の謹撰に触れていきたいと考えております。以降はご一読お願ひ致します。また、前回より変更点がございます。ポスターの張り先、ポスターの配布スケジュールです。資料に乗っているのは、内約をいただいている場所です。慎重なるご審議よろしくお願ひ致します。

<須山> ありがとうございます。飯野常任、何か補足ございますか。

<飯野> 特段ございません。慎重なるご審議の程よろしくお願ひいたします。

<須山> ありがとうございます。それでは審議に移らせていただきます。ご意見お持ちの方は挙手にてお願ひします。

<須山> 木村委員長

<木村> 2点ございます。まず1点目は駐車場の誘導の件で、人数が揃わなかった際の想定はしていますか。もう1点は帰りのバスは何本出るのか。1300人に対してそれで間に合うのか。想定していますか。追加でもう1点、社会的不利益のある方、小さなお子様にトイレがすぐに行ける場所を用意していますか。

<増淵> 人数に関しましては、最大7名を考えております。たとえ5名でも大丈夫な想定はしています。バスの点に関しましては、考えておりませんでしたので、調べて対応します。

<木村> バスの件に関しましては、間に合うバスの数は4台です。後で時間の方はお伝えしますが、臨時バスの方も調べてみてください。

<増淵> トイレに関しても想定していませんでしたので、考慮いたします。

<須山> その他、ご意見お持ちの方はいますか。

<須山> 増淵委員長、小さなお子様や社会的不利益を持っている方に対して、どのように配慮するか、御答弁いただいでよろしいでしょうか。

<増淵> トイレや出口に近い場所に、場所を確保します。

<須山> その他ご意見のある方いらっしゃいますか。いないようですので、審議に移りたいと思いますがいかがでしょうか。それでは、審議に移らせていただきます。3月研修例会 開催計画並びに予算(案)承認の件賛成の方右手を挙手にてお願ひ致します。白紙の方。反対の方。事務局長評決お願ひします。

<飯沼> 全会一致でございます。

<須山> 全会一致ということで、3月研修例会 審議可決と致します。

<須山> 審議可決となりましたので、研修例会に向けて意気込みを伺いたいと思います。

<増淵> 今回の大きな目玉は、動員1300人を目標としております。その宇都宮市民の方々に、宇都宮J.Cの運動や存在感を最大限PRしていきたいと思ひます。動員のご協力よろしくお願ひ致します。

<須山> 研修委員会だけではなく、ここにいる全員で宇都宮の市民の方々に葛西氏の

講演を聞いていただけるよう動いていきましょう。

## 15. 協議事項

協-01 4月 郷土愛醸成例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料につき飯塚委員長より資料の読み上げ

- <金> ありがとうございます。2回目の理事会での上程です。ご意見ご質問のある方は右手挙手にてお願いいたします。
- <佐藤> ワークショップについてお聞きしたいのですが、ファシリテーターは進行役ですか。
- <飯塚> 今回、ファシリテーターの方に進行をしていただきます。
- <渋江> 第一部の講話50分とありますが、この中で講師の先生への出題などがありますか。
- <飯塚> ワークショップにて、来ていただいた方々の質問にて、出題を考えております。
- <相田> タイムスケジュールの件で、ワークショップでの発表のところで、持ち時間が20分とありますが、引継ぎとかを考えた時に実質3分くらいになってしまうと思います。その中で4分、時間があるといってしまうと時間が押してしまうと思うのですが、いかがでしょうか。意見です。
- <木村> 意見ですが、ポスターの構成を変えた方がいいと思います。
- <山田> 質問です。ワークショップでファシリテーターとタイムキーパーはメンバーということですが、やる人は当日きめるのですか。前日きめるのですか。
- <飯塚> 事前に各委員会に1名ずつ選出していただきます。
- <山田> ファシリテーターが進行役を決めるポイントがありましたら教えてください。
- <飯塚> ファシリテーターの方に進行役も務めていただきます。議案を訂正致します。
- <山田> ワークショップのテーマを教えてください。
- <飯塚> まず、1つ目のテーマ、日本が戦争で得たもの失ったものとありますが、日本人としての誇りというところから、このテーマを設定しました。2つ目のテーマでは、事業自体のテーマを引き出すために設定しました。
- <宮林> 講師のプロフィールを拝見いたしますと、戦前から前後の道徳とか戦後の様々な有無とかは先生が話すのは想像できるのですが、郷土愛を育むためのということに関して、先生が何を話すのかとか打ち合わせをしていたら、教えてください。
- <飯塚> この点につきましては、先生と2度お会いし打ち合わせをしました。郷土愛に結び付けるためにいろいろと話を細かくしていただきます。
- <相田> 当日のメンバーのタイムスケジュールはありますか。
- <飯塚> まだ、決めておりませんので、次回までに委員会にて決めさせていただきます。
- <間島> 当日、写真撮影等があると思いますが、宇都宮J CのHPやフェイスブックへの写真アップのため、申請をお願いします。
- <渋江> 会場設営の件ですが、この会場は非常に照明が暗いので、来場されるお客様に配慮をお願いします。
- <林> ファシリテーターの研修をされるということですが、こういった内容の研修をされますか。

- <飯塚> 私たち研修委員会で現在、先生の勉強をしております。その内容を伝えさせていただきます。
- <林> この事業はワークショップが目玉だと思います。その仕入れなどをしっかり対策を練っていただきたいです。
- <金> ファシリテーターの事前の研修の内容が議案から、読みとれないのですが、どこかに、記載してありますか。
- <飯塚> ファシリテーターの育成資料は次回までに記載させていただきます。開催日時なども記載できるように進めさせていただきます。
- <須山> ワorkshopが終わった後のまとめが重要だと思います。最後に聞きたいのですが、戦争で得たものとありますが、戦争で得たものってなんですか。私は戦争とは失うものばかりだと思います。表現を変えるか、この質問に答えられるようにしておいてください。

協-02 5月 わんぱく相撲例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料につき宮林委員長より資料の読み上げ

- <金> 2回目の上程となっております。全般にご意見ご質問いただければと思います。ご意見ご質問ある方は右手挙手にてお願いします。
- <木村> 2点あります。まず、前回理事会の意見と対応の15番ですが、女性の着替える場所を隠しておくとなっておりますが、それは逆だと思います。手前で男の子が着替えていると男の子を女の子がみるかたちになります。ですので、女の子の着替える場所はみえないように逆に手前に設置すべきだと思います。意見です。もう1点、質問で、前回の常任理事会の意見6の意見、対応で、和太鼓、ダンス、元力士との交流で得られる効果とは、どういうものですか。
- <宮林> 議案にも書かせていただいておりますが、元力士との交流では相撲と浸しんでもらい、楽しいと思っていただき、次年度以降も参加していただきたいということを考えております。続きまして、和太鼓に関しては、演奏にて気持ちを鼓舞していただきたいと考えております。ダンスにつきましては、ダンスというものは日々、練習をし、目標に向かって努力している、そんな同年代の子どもたちをみて影響をしていただきたい、そう考えております。
- <木村> その他、意見に対して対応していないところがあります。何がいいかということ、いろいろやっていくのはよいことだと思うのですが、そもそも継続事業なので、わんぱく相撲がどういうものなのかを、もう一度委員会で全員認識してから、取り組んでください。意見に対して対応していないので、そこに対して委員会メンバーで対応して行ってください。
- <中嶋> 10番の事業内容の大会概要につきまして、団体戦について地域ごとの団体戦を実施するとありますが、通年ですと、スポーツ少年団などに声を掛けて実施をしていると思いますが、細かい記載が抜けているので、どのように考えているか教えてください。
- <宮林> 学校単位や各種団体の参加を想定しております。なかなか、地域としては難しいと考えていますので、今後精査して考えていきます。
- <山田> 元力士との交流の件ですが、申込者はどういうふうにする予定ですか。
- <宮林> まず、受付の段階で、くじ引きをしていただこうと考えております。そして当たりを引いた子に対して、参加の意思を確認し、説明をします。



- <林> 質問です。わんぱく相撲はボランティアさんを募集はしてないのですか。
- <宮林> 現在のところはアート&スポーツ専門学校には司会をお願いしたいと思っております。また、まわし小屋では、女性のボランティアを募集したいと考えております。
- <林> 全体でボランティアの人数が必要とするかはわからないのですが、事業背景のところ、地域社会の大人が積極的に子どもたちの教育に関わる必要と入っております。やはり、幅広くボランティアを募集することで、宇都宮 J C がわんぱく相撲を開催していることを知っていただけますので、他の部分でもボランティアを募集してみたいかがですか。
- <清野> 質問ですが、こしはちゃんこはやりですか。
- <宮林> 今年もちゃんこはやりです。
- <木村> 去年ボランティアを募ってみて、よかったことはなんですか。まわしを触らせられない点の考えるとボランティアを募る意味があるのかと思質問しました。
- <宮林> 機能的に大切なところは宇都宮 J C メンバーが基本的にはやるべきだと考えておまして、ボランティアはお手伝いと考えている次第です。ボランティアがいなければできないとは思っておりません。ただ、去年は市民を巻き込むということがありました。今年は機能的に必要な部分に絞ってボランティアさんを募集します。
- <木村> ボランティアさんと呼ぶのであれば、事前に落とし込みをすべきだと思います。
- <赤井> 前回の理事会で御座を敷くとありますが、今、現時点でどのような対応をしていますか。
- <宮林> 御座という表現ですが、実際は畳の表をもらうことになっております。畳は 2 パターンありまして、分厚いのと薄いのがあります。分厚いもののみ集めるのは難しいので、薄いものを 2 枚重ねて使うことを考えております。
- <金> その他、ご意見ご質問なきようですので、須山理事長コメントお願い致します。
- <須山> 前回の常任理事会でもいったのですが、事業内容のところ、ひし形を使っている、ここは直してください。議案の作り方で、あまりにも応用が多いです。参考資料に沢山乗せていただいているのですが、議案と絡まないと、何の参考資料かわからなくなるので、もう一度、参考資料の中身を精査してください。

協-03 5月 PR事業 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料につき篠原委員長より資料の読み上げ

- <金> 1 回目の上程となりますので、事業要綱と事業概要を分けてご意見ご質問をいただきたいと思っております。まず、事業要綱についてご意見ご質問ある方は右手挙手にてお願いいたします。
- <木村> 対外目的のところですが、宇都宮 J C を知っていただくのが目的なのか、宇都宮 J C という名前を知っていただくのが目的なのか、どちらですか。
- <篠原> この事業に関しては、事業内容を知っていただくというより、宇都宮 J C の名前を知っていただきます。それを認知と考えております。

- <金> つづきまして、事業概要のご意見ご質問をいただきたいと思います。ご意見ご質問ある方は右手挙手にてお願い致します。
- <福田(弘)> スマイルキャンパスについて教えてください。
- <篠原> 私たちが今回スマイルキャンパスに行き着いた経緯は、いろいろといろいろなものを考えましたが、持続性を重視し、最後に辿り着いたのがキャンパスでした。その中で、リレー方式にし、いろいろな場所へ飾ります。そして、いろいろな場所に飾ることによって、宇都宮J Cの名前を目にさせていただき認知へ繋がります。
- <福田(弘)> 過去の事業を考えスマイルキャンパスの中身を再検討してみてください。
- <鈴木> 何を使ってキャンパスに書くのですか。
- <篠原> ペンキなどでは、親が心配するので、クレヨン、クーピーを使ってやっていただきます。
- <鈴木> 予備費2500円しか残っていないので、予算の兼ね合いも考えながら選定してください。
- <相田> 絵に対してテーマにそぐわない絵を描いた場合の対応と書くときに一斉にみんなで書くのか、それとも順番に書いていくのか、パネルの転倒などの問題も考えていますか。
- <篠原> テーマにない絵を描いた場合、悪意のある場合はこちらで消させていただきます。キャンパスの大きさが横幅3・6メートルなので、1パネルに2～3人に書いていただきます。パネルの転倒に関しては、資料上はまだ、記載されておりませんが、しっかり対応させていただきます。
- <山田> 当日の服装などの資料もまとめてください。
- <福田(弘)> すごく面白いアイデアですが、そもそもの宇都宮J CのPRには繋がっていますか。宇都宮J Cの事業も知っていただく必要があると思います。また、パネルを横にして上から書いていくといいと思います。
- <宮林> 事業目的をみますと、笑顔はいいですが、宇都宮J Cの事業を通した時の笑顔とかがですか。ご検討お願いします。
- <小瀧> キャンパスの大きさですが、子どもたちが思った以上に小さい絵を描いた場合と、コンパネに対してクーピーでは耐えきれないと思いますが、その点の対応は考えていますか。現実的に自分たちでやってみましたか。もう1つ、事業内容の10番、テーマ笑顔の5番で市民憲章にある、楽しい町作りのテーマの選定がおかしいと思います。市民憲章に選定の目的とありますので読んでみてください。
- <篠原> 検証不足は否めませんが、私たちの子どもに折り紙サイズも紙を渡し書いて貰ったところ、しっかり書いてくれました。キャンパスの件ですが、そこらは検証いたします。
- <相田> 以前に作られた、宇都宮J CのPR画像を流せませんか。
- <篠原> 現状のブースの中では難しいですが、場所の確保ができれば、やっていきます。
- <南木> ブースで拡大ポスターを張るのと、入加資格のある方へ、リーフレットを配るのは可能でしょうか。
- <篠原> 拡大ポスターは張れます。リーフレットは早急に対応致します。
- <林> ビジターさんを誘う上で創意工夫はありますか。
- <篠原> 気軽に来ていただけるのが、一番の利点です。私たちの動きとしましては、過去にビジターで来て、入会されてない方々を、知り合いを通して、お声掛

けします。

- <林> 是非、事業全体を教えていただき、ビジターさんをお誘いしていきます。一つ意見です。設置場所に県庁が入っていないのですが、是非入れてください。
- <小瀧> この企画が通ったら、予算が少ないと思いますので、アートボランティアを検討してください。
- <木村> わんぱく相撲に向けて、PRをした場合、わんぱく相撲の時にこのPR事業の結果が出るので、是非、PRしてみてください。
- <金> その他、ご意見ご質問いかがでしょうか。なきようなので須山理事長コメントをお願いします。
- <須山> 最後の木村委員長の意見、是非試してください。11番項の前年度の引き継ぎ事項で、わんぱく相撲が次の週に行われるので、その事業で集まった市民にスマイルキャンパスに参加していただきます。とありますが、雨の場合スマイルキャンパスはできますか。宮林委員長聞いていますか。
- <宮林> すみません、はじめて伺いました。
- <須山> 2つの委員会では是非とも協議していただいて、雨が降らなければ問題ないと思いますので、晴れた場合はブースを貸してあげるような対応も考えていただきたいと思います。皆さんの意見を聞いていましたが、皆さんイメージがあまり湧いていないのかなと思います。イメージがあまり湧かないのは完成予想図がないからでしょう。注釈を入れてやれば、わかり易く、発信できると思います。また、リレー方式で飾ってゴールは何処で定めていますか。
- <篠原> ゴールは10月末と定めます。
- <須山> たとえば、可能であれば、最後は宇都宮美術館に寄贈するとか、ゴールを是非定めてください。

協-04 1月新入会員認証(案)について  
協議資料につき、佐藤副委員長より資料の読み上げ

- <金> ご意見ご質問ある方は右手挙手にてお願いいたします。
- <金> 佐藤副委員長、資料のEメールの体裁が整っていないようですが、いかがでしょうか。
- <佐藤> はい、変更いたします。
- <金> ご意見ご質問なきようでございます。
- <佐藤> 先ほどの入会申込書の件を訂正した上で、審議格上げの同義をお願いいたします。
- <金> ただいま佐藤副委員長より、審議格上げの同義がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手にてお願いします。羽石常任、鈴木常任、2名セコンドお願いします。それでは審議格上げの決を取りたいと思います。協議事項4番 2015年度新入会員認証(案)につきまして、審議格上げに賛成の理事の方、右手挙手お願いします。反対の方、白紙の方、事務局長お願いします。
- <飯沼> 全会一致でございます。
- <金> 全会一致でございますので、審議事項2番に新入会員認証(案)を格上げします。審議事項に戻りますので、マイクを須山議長に戻します。議長、お願い

いたします。  
<須山> それでは先ほど審議格上げとなりました、審議事項2番項 2015年度新入会員認証の件につきまして、佐藤副委員長お願いいたします。

審-02 1月 新入会員認証(案)について  
審議資料につき、佐藤副委員長より資料の読み上げ

<須山> こちらは人事案件でございます。新しく新入会員承認の件となっております。先ほどご意見ありませんでしたので、審議に移らせていただきますがいかがでしょうか。

異議なし

<須山> それでは賛成の方、右手挙手をお願いします。白紙の方。反対の方。事務局長評決をお願いします。

<飯沼> 全会一致でございます。

<須山> 全会一致を持ちまして、審議可決といたします。

<須山> ありがとうございます。それでは審議事項を締めさせていただきます。

#### 16. 報告依頼事項

報-1、一部対外配布資料の承認手続きについて

<金> ご一読ください。

報-2、4月 郷土愛醸成例会 承認済み対外配布資料について

<金> ご確認ください。

報-3、5月 わんぱく相撲例会 承認済み対外配布資料について

<金> ご確認ください。

報-4、2015年度 年間公式スケジュールについて「

<金> ご一読ください。

報-5、2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-6、会費納入状況について

報-7、特別会員入金状況について

金田局次長より年会費納入状況について説明。

報-8、ビジター報告

報-9、ビジター名簿

小瀧委員長より報告

報-10、その他

小瀧委員長よりホームページの事業告知の報告

山田委員長より2月市長例会の報告

#### 17. 監事講評

<篠崎(達)>

本日、オブザーバーとしまして、46代理事長山本先輩に講話をいただきまして、本日オ

オブザーバーのメンバーの皆様は理事を目指されるものと思います。また、時間を作っていた  
だきオブザーバー紹介をいただきましたかったというのが私の感想です。今後こういった機会  
がありましたら、時間がかかってもオブザーバー紹介をお願い致します。そして、本日の  
会議にやむをえない理由で遅参された理事の方、どうしても青年経済人ですので、致し方  
ないのはわかりますが、発言前や、調停まえに一言お詫びすべきです。他の方は定刻に來  
ています。そういったことも再認識して会議に臨んでください。議案に関して、増淵委員  
長審議可決おめでとうございます。そして、皆様、審議受け賜りまして、ありがとうございます。  
審議を賜った以上、ここからが正念場となってきます。冒頭に理事長からもあり  
ましたが、努力した分報われる。そんなこともございます。委員会だけではなくメンバ  
ー全員を動かせるように働きかけの方をして、当日を迎えてください。また、審議にて会  
員拡大、1名認証されました。友達を作る秘訣、仲間を作る秘訣があります。青年経済人  
として、こういった団体に所属する場合には3つの秘訣があります。1つは、会社での肩  
書を捨てる。2つ目は、とりあえず出席する。3つ目は、自分の居場所を見つける。明日、  
21名のビジターの方々がいらっしゃいますので、この話を簡単にいただき、委員会  
メンバーに関しては、そういった指導をしてください。最後になりますが、委員会運営と  
いうことで、本日、山本先輩に御講話をいただきました。ここで私の方からも一つ。山本  
さんの名言。山本先輩ではなく、山本五十六さんです。山本五十六さんは太平洋戦争時、  
連合艦隊の司令官を務め、真珠湾攻撃をした人物でございます。その山本五十六さんの名  
言です。間違えないよう、読ませていただきます。「やってみせて 聞いて聞かせて や  
らせてみて 褒めてやらねば人は動かず。」 「話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやら  
ねば 人は育たず。」 「やっている姿を 感謝で見守って 信頼せねば 人は実らず。」  
こういった言葉があります。興味のある方は、これからの人材育成に役立ててください。  
明日の例会、皆様顔を合わせて盛会に終わりますのを祈念して、簡単ではありますが、幹  
事講評とさせていただきます。

<金> 篠崎(達)監事ありがとうございます。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第2回理事会

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 之  
篠 崎 達 彦  
安 野 嘉 政